

お元気ですか

発行所・(福)横浜市社会福祉協議会
障害者支援センター

〒231 横浜市中区桜木町1丁目1番地
-8482 横浜市健康福祉総合センター9階
TEL 045(681)1211・FAX 045(680)1550
http://www.yokohamashakyo.jp/siencenter/

編集発行人・森 和雄

2017 / 12

「あんしんノート」に綴る親の思い 書き方講座より

障害者支援センター
はこの九月、「あんしんノート」(*1参照)書き方講座を実施した。インストラクターは「NPO法人ゆうの風(以下、「ゆうの風」)や「横浜重心グループ」の皆さん。この講座は平成二十二年度から開催(二十六年年度までは「ゆうの風」が、それ以降は、障害者支援センターが市から受託)され、今回を含め受講者は約八百人を超える。

「丁寧に綴る」

伊深さんは、以前から「あんしんノート」の存在は知っていたが一人で書き始めるのは難しいと感じていた。しかし「自分に何かあったら」という思いが募っていた時に「書き方講座」の事を知り参加したと言う。「例えば、衣類の着脱。本人が衣類を自分で選べるのか、あらかじめ用意する必要があるのか。暮らしに必要な一つ一つの事柄に、どのような「支援」があれば出来るのかを考えるきっかけになった。これまで、親として何気なくやってきたことを丁寧に綴る『支援ノート』のようなものとして捉えられた」と感想を話してくれた。



伊深祐子さん「誰にでもあんしんノートは必要。周囲にも勧めていきたい」と語る伊深さん

「将来に向けて」

息子の友喜さんは二十五歳。毎日、旭区内の事業所に通所している。スウェーデン刺繍などの自主製品作製や調理などを行っている。「朝起きてから通所の準備、帰宅後の食事、入浴など、最近は生活の予定を持つことが習慣となりました。『自分でやりたい』という様子も感じられ、親元から離れていく準備が出来てきたように思う。グループホームも選択肢の一つでしようか」とお子さんの将来に思いをはせる。そのためにも、あんしんノートをじっくり書き込んでいきたいとのことだ。

「ノートの改定版」

ゆうの風では今年九月にあんしんノートの改訂版を作成した。改訂版では関係機関が一目で分かるような「支援マップ」や成年後見制度に関する項目(*2参照)も掲載。

成年後見等の選任

子どもの成年後見人をお願いしたい人/法人等 該当に○を付ける

氏名または名称	連絡先	本人との関係	現状
			イ:了承を受けている ロ:話している ハ:まだ話していない

*2 ノートより抜粋。後見人候補に関する希望の有無や親族・きょうだいへの思いを記載する欄などが追加された。

【問合せ先】

NPO法人ゆうの風
電話・FAX:045-681-1211
Eメール:y-kaze1017@you-kaze.main.jp
ばさばネットワーク事務局
FAX:045-5138-1198
Eメール:pazapanet@live.jp

*1 あんしんノート
障害のある人が地域で安心して暮らしていくため、ご本人の希望や生活状況、ご家族の思いなどの情報を必要な時に取り出せるようまとめた記録。

望遠鏡

「二〇二〇年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて」
東京オリンピックとくれば一九六四年東京大会の記憶がよみがえります。バレーボール、マラソン、柔道、体操競技等の名選手や名勝負、国中がオリンピックに沸き立ちました。それはまた、高度経済成長の中で、戦後からの復興を象徴するイベントでもありました。
あれから五十六年後となる二〇二〇年東京大会は、どんな大会になるのでしょうか。オリンピック・パラリンピックの開催を通じて、どのようなレガシー(遺産)を創出していくのか、ということが大切なテーマとなっています。
大災害の経験や日本を巻き込む大きな環境の変化を、どのように受け止め、何を築いていくのか問われています。二〇二〇年オリンピック東京大会を契機として「共に生きる社会」の姿を世界に発信していきます。
(セイフティネットプロジェクト横浜代表 平井 晃)

障害者後見的支援制度 本人の将来とともに 考えるための取り組み

この十月で、後見的支援制度がスタートし、八年目を迎えた。

本人の将来とともに考えるために、各支援室では、必要な情報を本人や家族にわかりやすく届けようと、様々な取り組みを行っている。今回は、青葉区障がい者後見的支援室ほっぷ(以下「ほっぷ」と地域の関係機関が連携した取り組みを紹介する。

障害のある方とご家族のための… 「親あるうちの準備」を考える連続講座

1	本人の将来に関する相談・支援体制について	青葉台 地域ケアプラザ
2	障害者の年金と福祉サービスの利用方法について	鴨志田 地域ケアプラザ
3	障害者グループホームでの生活について	大場 地域ケアプラザ
4	親あるうちにできる「心の準備」	さつきが丘 地域ケアプラザ
5	成年後見制度(法定後見)の概要	もえぎ野 地域ケアプラザ
6	親などの親族による後見活動の実際	ピオラ市ケ尾 地域ケアプラザ
7	法人後見や、生活を支える制度	恩田 地域ケアプラザ
8	相続と遺言についての基礎知識	すすき野 地域ケアプラザ
9	障害者のご家族のためのマネープラン	奈良 地域ケアプラザ

【主催】青葉区自立支援協議会
【企画・共催】青葉区基幹相談支援センター、青葉区障がい者後見的支援室ほっぷ、青葉区内の各会場の地域ケアプラザ

「(表参照)」を行うことになった(第一回から六回まで延べ参加者数・二七四名)。

例えば：
一度、説明を聞いただけでは理解しにくい成年後見制度。制度の説明だけでなく、家族の体験談も聞きたいという要望を取り入れた講座を十月三十一日に実施した(四十八名が参加)。講師は、娘さんの親族後見人である阿部倉さん。後見の申し立ての経緯やその手続き、自らの後見活動について、時系列に沿って話していただいた。参加者からは「今まで遠いと思っていたことがグッと身近に感じられた」「母親目線のお話で分かりやすかった」「気力のあるうちに親族後見含め色々勉強していこうと思った」などの感想が寄せられた。

関係機関との連携
参加しやすい、身近なところで講座を開催

成年後見制度の理解

しよと、区内の全地域ケアプラザに出向き、協力を求めた。ピオラ市ケ尾地域ケアプラザ包括支援センターの寺西さんは「これまで障害のある方の支援者とあまり接点がなかったが、今回の講座をきっかけに、複合的な課題がある相談援助をはじめ、普段の仕事でも連携していければと思う」と話す。

ほっぷの担当職員帆苺さんは「毎回、定員を上回る申し込みがあり、この講座への関心の高さに驚いている。支援室だけでは難しいが、地域の関係機関と協力しながら、これからも何らかの形で続けていきたい」と語った。



家庭裁判所とのやり取りを語る阿部倉さん

第六・七回優勝のジャスマインの「西遊記」は衣装も悟空の武術も本格的。あっという間の楽しい時間だった。来年のDASHIMONO(ダッシュモノ)が今から待ち遠しい。

第8回 D-1グランプリ エキシビジョン大会

去る九月六日にD-1グランプリエキシビジョン大会が横浜ラポールで行われた。今回は歴代の優勝団体四組が集い、盛り上がった大会となった。

過去三回優勝した夢21上星川は揃いのはっぷを着て、掛け声も揃った迫力のある「ソーラン節」を披露。

第五回優勝の第2かたるべ社は「未熟者」パボラー「砂漠」という演劇で出演。一日で作ったという台本は、会場を驚かせた。

みんなで盛り上がったダンス

気合の入ったソーラン節

ジャスマインの西遊記

第2かたるべ社の演劇

あゆみ荘 だより

「くずがやゆめひろば」夏編「開催

七月三十日(日)、「くずがやゆめひろば」水遊び&流しそうめん@東方公園」が開催されました。

「ゆめひろば」は、都筑区葛が谷エリアの各地区社協、障害児地域訓練会などで構成する実行委員会と、葛が谷地域ケアプラザ、都筑区社会福祉協議会、都筑地区センター、横浜あゆみ荘の共催で、地域と障害児世帯をつなぐことを目的に、障害児の余暇支援活動や保護者勉強会を実施しています。



水遊びで大はしゃぎ!

当日は早朝までの大雨が上がり、涼しい中で実施。参加児童はボランティアとペアを組み、地区社協スタッフが用意した様々な水遊び用具で大はしゃぎ。お昼には流しそうめんを行い、満面笑みの中楽しい時間を過ごしました。



楽しい! 流しそうめん



勉強会風景

同時に開催した勉強会では、「親からの自立」グループホームなどでの生活」をテーマに、有意義な情報交換が行われました。

◆全客室の全面禁煙について

平成三十年一月より全客室禁煙とさせていただきます。なお、あゆみ荘での喫煙は、二階ふれあいホールに設置しています喫煙室をご利用ください。

◆外壁等の改修工事について

平成二十九年十月十日(火)から平成三十年二月二十八日(水)まで。工事期間中はご迷惑をおかけいたしますが、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

◆年末年始の休館日

平成二十九年十二月二十八日(木)から平成三十年一月三日(水)まで

◆施設整備点検に伴う臨時休館日

平成三十年一月二十三日(火)から二月一日(木)まで

※お問合せは、
横浜あゆみ荘まで
電話(九四一)八三三三



HEART MADE 通信 ハートメイドカタログ改訂

ハートメイドカタログが三年ぶりに改訂、表紙のデザインが新しくなりました。

多くの商品を紹介できるように、商品を増やし、従来にも増して魅力ある商品を掲載しています。アクリルタワシや布巾などは複数の製品が掲載されていますが、質・色あい・デザインと事業所の個性があふれているので、お好みにあった商品をお選びいただけます。新商品の中からいくつかご紹介します。

【お菓子】「シフォンケーキのラスク」は、ふわふわのシフォンケーキをラスクにし、サクツとした食感で口の中とろけます。
【紙製品】「御朱印帳」和紙でできた、和柄のかわいい御朱印帳です。



御朱印集めに、神社やお寺巡りをしてみてはいかがでしょうか。
【アクセサリ】「ぼーちゃんストラップ」は、まるく、モコモコした毛糸玉のようなゆるキャラ「ぼーちゃん」のストラップです。ぼーちゃんの表情がとてもかわいらしい商品です。

その他いろいろな商品が掲載されています。カタログは、各ふれあいシヨップのほか、左記にご連絡いただければ送付いたします。
※お問い合わせは、
ハートメイド担当
電話(六八二)一一三一一
FAX(六八〇)一五五〇

支援センターだより

障害者支援センター
平成三十年感謝の集い
のご案内

障害者団体に対し、日頃からご協力・ご支援いただいている方々への感謝と交流の場として「感謝の集い」を開催します。

感謝状贈呈式典のほか、団体のアトラクションなど、楽しい催しもあります。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【日時】平成三十年二月三日(土)午前十一時三十分から

【会場】横浜ラポール・ラポールシアター他
【会費】三千元

お詫びと訂正

当センター発行「お元気ですか」名簿編-」において記載内容に誤りがございましたので、訂正し、お詫びいたします。

- 1) 17ページ
せや福祉ホームの【交通案内】
【誤】相鉄バス「細谷戸第三」行
【正】神奈中バス「細谷戸第五」行
- 2) 26ページ
神奈川区「キッチンみなと」「ワークスみなと」の【法人代表者名】
【誤】伊藤 満 【正】伊東 満